

	サイズ	使用荷重(kg)	重さ
EA628AC-11	φ4.8×15m	31	200g
EA628AC-12	φ6.4×15m	67	
EA628AC-13 (ポリエステルロープ)	φ8.0×15m	104	

- 劣化したり老朽化したロープは使用しないでください。
- 結び目や擦過はロープの寿命を縮めますので避けてください。
- ロープは高温に曝さないでください。また、長時間直射日光に当てて放置しないでください。
- 鋭い角などのあるところで使用しないでください。
- ロープをカットする時は、カットする個所にテープを巻いて中央をナイフかハサミで切ってください。ナイロン等のロープ端末はライターの火等であぶって処理してください。
- ロープの使用荷重はあらゆる条件下を考慮してその1/3で表記しています。

◆ 材質の比較

ナイロン

ナイロンはロープの種類の中で最も強く復元力のある材質です。そのため、ショックを吸収するリフトや引き作業に向いています。ナイロンは天然素材のロープより4～5倍長持ちします。擦過に対して強く、オイルやほとんどの薬品に耐性を持ちます。また直射日光の紫外線に対しても耐性があります。

ポリエステル

ポリエステルは一定の力作用に対してはナイロンに似ています。しかし、伸張性はナイロンに比べて小さいのでナイロンのようなショック吸収は望めませんが、湿気や薬品への耐性、及び擦過や直射日光の耐性はナイロンと変わらないため、船舶関連の作業に一般的です。

ポリプロピレン

軽量のためポリプロピレンは水に対して浮力があります。天然素材の繊維と同じく直射日光に弱く、曝されると劣化が早まりますが、日光に当てない限り長持ちします。合成繊維のロープの中で最も低い温度(約65℃前後)で溶けてしまいます。強度はナイロンやポリスターに比べて小さくなりますが、マニラ麻よりは2～3倍の強度があります。ポリプロピレンロープは他の繊維ロープに比べても安価なため多目的に利用されます。

マニラ麻

天然素材繊維の中でも硬く、太陽光にも強い耐性があります。熱くなったワイヤと接触しても化学繊維のように溶けないため建設工事などにも使用されます。しかし、極端な高温や、熱いワイヤー等に長時間触れていると発火してしまいます。マニラ麻は結び目が固く伸張性も小さい性質を有します。保管する時は乾燥した所で、かびさせないようにしなければなりません。薬品類も劣化の原因になります。